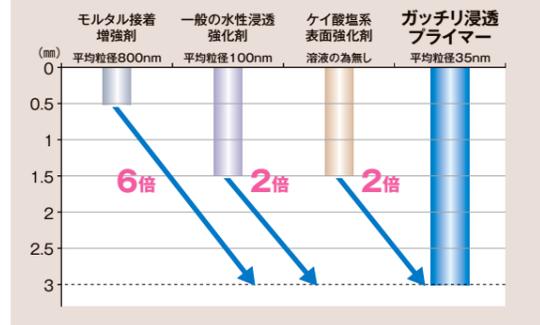


テクニカルデータ

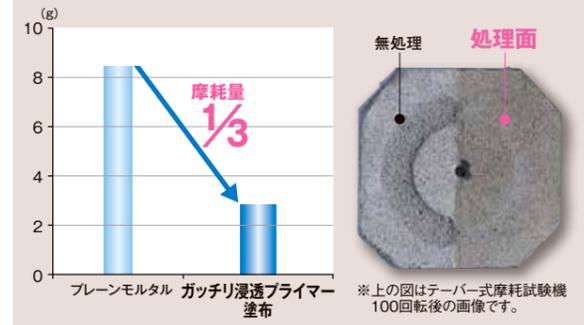
◆ 各種プライマーとの浸透深さ比較試験

浸透深さ比較試験



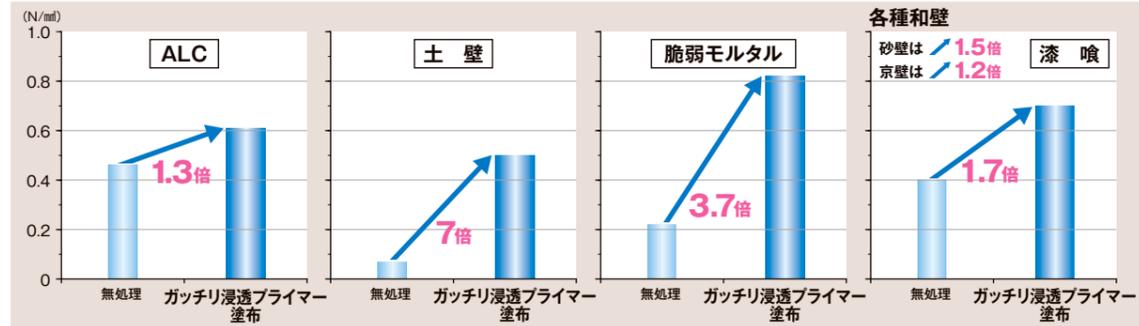
◆ 耐摩耗性比較試験

耐摩耗性比較試験



◆ 各種下地に対する強化試験

接着強度比較試験



◆ ガッチリ浸透プライマーと各種仕上材との付着強さ

接着強度比較試験



容量・外観・組成

ガッチリ浸透プライマー-W ガッチリ浸透プライマー-寒冷地



内容量	形態	外観組成
14kg	ポリバール缶	乳白色半透明液体 特殊変性アクリル樹脂エマルジョン
4kg	ポリ容器	

取扱い及び安全上の注意事項

■ 取扱い上の注意

- 露出仕上げの場合は、姉妹品の「Hey浸透フィニッシュ」をご検討ください。(壁面に限る)
- 常時浸水する場所には適しません。
- 酸と反応するとゲル化する可能性があります。
- ガッチリ浸透プライマーを塗布し、塗布間隔が過ぎた後、若しくは下地においてガッチリ浸透プライマーが飽和状態で再度塗布した場合、浸透せずフィルム状で膜になる場合があります。
- 塗布しすぎてたまりができた場合は、ウエス等で拭き取ってください。
- 気温5℃以上での施工を心がけてください。(寒冷地は除く)
- 次工程にタイル用有機系弾性接着剤の施工をした場合、種類によっては不具合を生じさせる場合がありますのでご注意ください。
- 保管温度は、下記としてください。
【ガッチリ浸透プライマー-W 0℃以上、40℃以下】
【ガッチリ浸透プライマー-寒冷地 -5℃以上、40℃以下】
- 直射日光を避けて常温で保管してください。
- 落下、破損がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- 漏出した液体は、布などで吸い取るか、セメント、オガ屑、土砂などを混ぜ、モルタル状として凝固回収してください。
- 側溝、河川、湖沼等へは絶対に廃棄しないで、産業廃棄物として適切な処理をしてください。
- 1年以内に使用してください。

■ 安全上の注意

- 取扱いは換気の良い場所で行い、吸い込んだり、眼・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具(保護メガネ・保護手袋など)を着用してください。
- 眼に入った場合は、清水で数分間洗浄後、直ちに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合、肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いをしてください。
- 吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに新鮮な空気の場所に移動し、または温水でうがいをしてください。状況に応じて医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、口をすすぎ、無理には吐かせず、直ちに医師の診察を受けてください。

※弊社のホームページから最新のカタログ、SDS、試験成績表、標準施工要領書、ホルムアルデヒド放散等級をダウンロードできます。
※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。記載内容は、製品改良などによりことわりなく仕様変更をすることがありますのでご了承ください。



ヤブ原産業株式会社

本社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp

特許取得製品

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

YouTubeにて
動画配信中!



無機質下地専用 水性浸透強化剤

ガッチリ浸透プライマー-W ガッチリ浸透プライマー-寒冷地



ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO.,LTD.

ナノテクノロジーが可能にした 驚異の浸透・強化力!!

マイナス5℃まで施工可能!!

ガッチリ浸透
プライマー寒冷地

ポリマー粒子30~50nmが2~3mm浸透!!

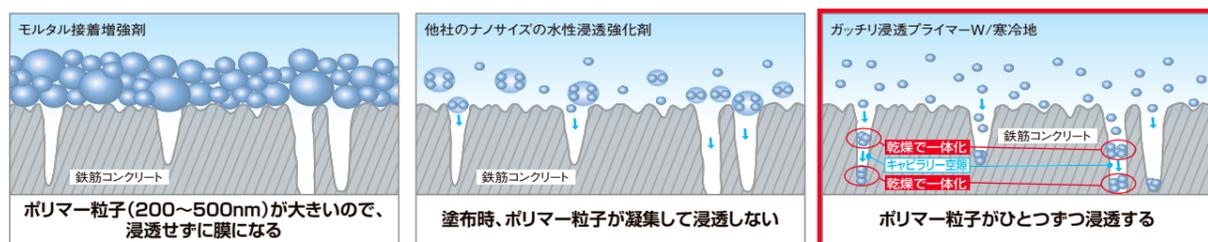
1nm = 1/1,000,000,000m

ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地とは

- 弱った下地をガッチリ固め、仕上げ材の施工を可能にします。
- 特許を取得した浸透メカニズムによる圧倒的な浸透力。
- コンクリート・モルタルの雨打たれ、凍害の補修に最適。
- 漆喰、土壁、繊維壁等、今まで施工が難しかった下地にも対応。

脆弱層へ浸透する独自のメカニズム(特許取得)

独自のナノテクノロジーにより、分子に近いサイズの30~50nmのポリマー粒子に高い化学安定性を持たせました。それにより脆弱層への浸透を可能にしました。この浸透メカニズムで特許を取得しています。

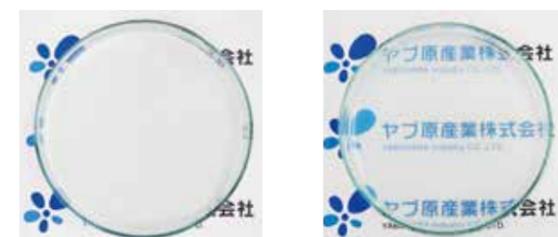


コンクリート・モルタルなどの無機質系下地の表面が脆弱である場合、その上に仕上げ材を施しても本来の付着力が期待できず、砂上の楼閣のように剥落の危険性をはらんでいます。

「ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地」はこの脆弱した無機質系下地の表層を強化し、仕上げ材を施工可能にする水性の浸透強化剤です。

他社品との比較

粒子径の違い

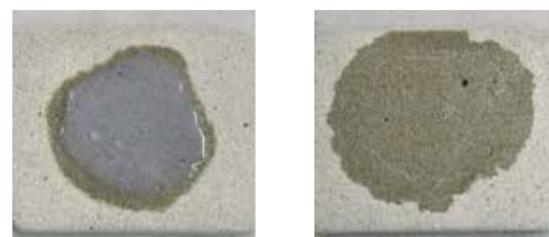


一般の水性浸透強化材

ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地

ガッチリ浸透プライマーはポリマー粒子が非常に小さいため、光の反射が少ないので半透明になります。

浸透度合いの違い(塗布後5分経過時)



一般の水性浸透強化材

ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地

ガッチリ浸透プライマーは浸透度合いが高いため、染み込む速度も速くなります。

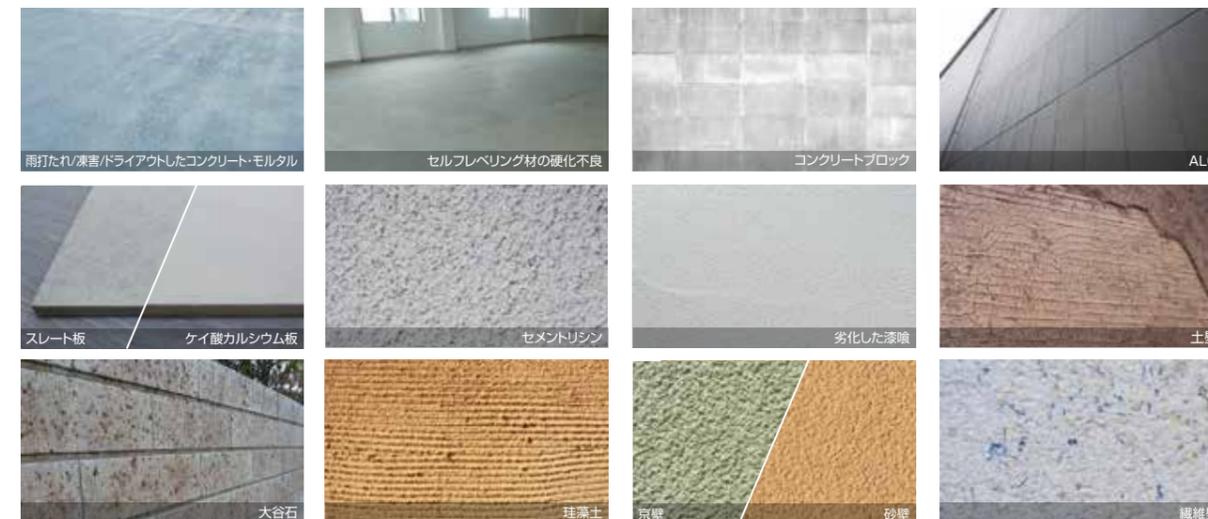
特長

1. 脆弱した無機質系下地表層に浸透し強化します。(特許を取得した独自の浸透メカニズム)
2. 水性なので有機溶剤の発散が無く、匂いも殆どありません。(室内でも施工可能)
3. 塗布後、セメント系材料のほか、各種材料を直接施工できます。(下記の使用方法 3. 仕上げ材施工をご参照ください)
4. 一液でかつ原液使用のため、混ぜたり希釈する必要はありません。
5. 気温マイナス5℃まで施工可能です。(ガッチリ浸透プライマー寒冷地)

用途



浸透強化に効果のある主な下地



その他、無機質系の下地・経年の風化・中性化した下地の浸透強化、防塵用としてご使用ください。また、無機質系材料の吸水調整材としてもご使用ください。

※塗料、ペンキ等の有機系塗膜や木部、金属、プラスチック等吸い込みが無い部材には効果が期待できません。
※油入りの漆喰やコテ磨きした漆喰は、吸い込みが少なく、効果が期待できない可能性があります。高強度コンクリート、GRC板も同様です。
※研磨などの表面処理を行うことで施工が可能になる場合があります。
※れんがは際限なく吸い込む場合が多く、強化できない可能性が高いので推奨していません。
※京壁や繊維壁等、表層に浸透して強化をさせますが、部材自体の下地に対する接着強度を向上させるものではありません。

使用方法

1. 脆弱した下地の処理
著しく脆弱した下地は、ポリッシャー、ディスクサンダー、皮すきなどで出来るだけ除去し、清掃してください。水洗いをした場合は、下地が十分乾燥していることを確認してください。(乾燥していないと浸透しません)
2. ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地 塗布
ウーローラーや刷毛、ジョーロ、噴霧器などを用いて原液のまま、表面に残るまで塗布してください。(ガッチリ浸透プライマーは塗布量が少なく下地内部は強化できますが、下地表層および表面を強化できないおそれがあります。しっかりと表面に残るまで塗布してください)
吸い込みの多い場合は、状況に応じて1回目の塗布から1時間以内に吸い込みが無くなるまで数回塗布*1してください。その後、乾燥*2させてください。

※1: 塗布量・施工面積の目安 塗布間隔:1時間以内

塗布量 (g/m ²)	標準施工面積
200~500	28~70m ² / 14kg缶
	8~20m ² / 4kg缶

脆弱部材	塗布量 (kg/m ²)	塗布回数 (回)
漆喰・京壁・砂壁	0.2~0.5	1~2
コンクリートブロック・大谷石	0.5~0.8	2~3
コンクリート・凍害・雨うたれ	0.2~0.5	1~2

※2: 次工程へは23℃で2~3時間(水分が蒸発したのち)を目安に養生してください。モルタル等の厚みのあるものを施工する場合は翌日以降としてください。

3. 仕上げ材施工

モルタル・外装材・床材・防水材等、用途に適した仕上げ材の標準施工仕様に基づいて施工してください。(原則として専用プライマーがある場合は、それを塗布してください)

■ガッチリ浸透プライマーW/寒冷地の上に仕上げ材の下塗りとして溶剤系のプライマーを使用する場合は、溶剤分を閉じ込めないよう十分に揮発・乾燥させてから仕上げ塗りを行ってください。(詳しくはお問い合わせください)

仕上げ材の種類	専用プライマー(セメント系材料の場合は吸水調整材)の必要性
セメント系材料	不要 ■セルフレベリング材は必要
水性塗料	不要*3
弱溶剤系塗料	必要
強溶剤系塗料	必要

◆原則として、仕上げ材の専用プライマーがある場合は、それを塗布してください。
※3: 防水系材料(弾性系材料)の場合は専用プライマーを必ず塗布してください。